

介護定員増計画の7割

建設費・人手足かせ

全国で2012～14年度に整備された介護施設の定員数が計画の7割どまりだったことが、読売新聞の調査で分かった。建設費高騰や介護の人手不足が主な原因。政府は昨年「介護離職ゼロ」を掲げ、従来の整備計画を引き上げ、20年代初頭までに施設を中心新たに50万人分の受け皿を作る方針を示したが、現行計画の達成すら難しい状況で、実現に向け人材確保など対策の強化を迫られそうだ。

本社全国調査

く、7区が50%を下回った。

達成できなかつた理由を聞いたところ、①建設費の高騰②用地確保が困難③介護人材の不足——の順で多かった。

調査では、全国で14年度末までに整備できた主要な介護施設の総計は約145万人分だった。政府は「1

億総活躍社会」の実現に向

けた柱の一つに「介護離職ゼロ」を掲げ、新規整備目標を従来の34万人分から、高齢者住宅なども含め50万人分に増やし、施設建設や人材育成の費用として1384億円を今年度補正予算案に盛り込んでいる。

これに対し、政府方針に多くの自治体が整備のねかび上がつた。

ツクとしてあげた建設費高騰や用地不足に対し、国はされた介護施設の定員数は、計画の7割どまりだったことが分かり、「介護離職ゼロ」に向けた課題が浮かび上がつた。

多くの自治体が整備のねかび上がつた。

一方、「引き上げの実現は難しそう」は8自治体、「引き上げは必要ない」は6自治体で、残りは「現時

12～14年度

方向で検討したい」と回答したのは12自治体(13%)で、そのほとんどが、介護保険料の上昇と人材不足を課題に挙げた。

一方、「引き上げの実現は難しそう」は8自治体、「引き上げは必要ない」は6自治体で、残りは「現時

見据えた指摘もあった。



よみほっと日曜版に
ならべかえワイズ

北海道	99
青森	90
岩手	81
宮城	97
秋田	106
山形	80
福島	91
茨城	73
栃木	95
群馬	106
埼玉	82
千葉	82
東京	64
神奈川	75
新潟	74
富山	82
石川	100
福井	100
長野	96
岐阜	100
静岡	66
愛知	103
三重	81
滋賀	95
京都	82
大阪	62
兵庫	99
奈良	99
和歌山	91
鳥取	100
島根	93
島根	95
島根	95
島根	90
島根	95
島根	92
島根	68
高知	91
高知	104
高知	96
高知	92
高知	85
熊本	103
大分	49
宮崎	85
鹿児島	103
沖縄	49

◆特別養護老人ホームの整備目標の達成率(都道府県別)

上位10県 下位5都府県

(数字は%。小数点以下四捨五入。2012～14年度。佐賀県は計画なし。読売新聞社調べ)

自治体が3年ごとに計画を立てる。調査は先月、都道府県と政令市、東京23区の計90自治体を対象に実施。特別養護老人ホームや老人保健施設、有料老人ホームなど主要な介護施設について昨年度までの3年間の整備計画と実績を聞き、全自治体から回答を得た。

その結果、3年間で全国で介護施設定員数を計19万8158人分増やす計画だったのに對し、実際には72%の計14万3257人分しか増えていなかつた。そのうち4割以上を占める特養は、8万6999人分増やす計画だったが、実際に整備できたのは84%の7万2745人分だった。最も整備ができた秋田県の106%に対し、最低は沖